モビリティー会社の実現に全力

トヨタ、自己変革急ぐ

「CASE」（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）の言葉に代表される技術革新の波が自動車産業に押し寄せる中、日本の車産業の中核をなす中部地域で変革への挑戦が始まった。トヨタ自動車は年初から「モビリティー会社への変革」（豊田章男社長）を掲げ、事業再編を加速。トヨタを支えるサプライチェーンも新分野への投資など対応を進める。10年に一度の変革期を生き抜く戦いに挑む。

「私は豊田家出身の3代目社長です」。2018年1月初旬、トヨタ自動車の豊田章男社長の姿が米ラスベガスにあった。当地で毎年開かれる世界最大の家電・IT見本市「CES」で記者発表会に登壇した豊田社長。「世間では3代目が（会社を）つぶすと言われるが、そうならないようにしたい」。英語で冗談交じりに語った後、こう宣言した。

「私の目標は、トヨタを自動車会社から『モビリティー会社』へと変革することだ」。

〝モビリティー会社〟が意味するのは、従来の自動車の製造・販売だけでなく、それを使った「移動」そのものをサービスにするということだ。トヨタはCESで、物販やホテル、オフィスなどさまざまな用途に使える車両「eパレット」を披露。クルマを単なる移動手段ではなく、サービスを生み出す基盤（プラットフォーム）として活用する構想を示した。

eパレットの〝売り〟の一つが、車両制御のプログラムを外部にも開示すること。これにより、例えば自動運転のソフトウエアなどでトヨタ以外のシステムも搭載可能となり、サービスの幅は一気に広がる。

トヨタはeパレットに先駆けて、16年から「モビリティーサービスプラットフォーム」（MSPF）と呼ぶサービスの基盤づくりを始めた。車両状態や制御に関するプログラムをオープン化し、カーシェアから物流、小売り事業者、官公庁まで「トランスログ」を供給し、さまざまな移動サービスの開発を検討する。

こうした移動サービスを生み出す車両には、現在開発中の自動運転技術とそれを動かす人工知能（AI）の進化が欠かせない。トヨタは20年までに高速道路で、20年代前半には一般道での自動運転技術を実用化する方針で、16年に米シリコンバレーに設けたAI子会社「トヨタ・リサーチ・インスティテュート（TRI）」を中心に技術の確立を急ぐ。

3月にはTRIの成果を実際の製品につなげるべく、東京に新会社「TRI-AD」を設立。トヨタグループのデンソー、アイシン精機も少額出資して技術者を派遣しており、全体で今後1000人規模を見込む大所帯だ。3社で開発投資3000億円以上を計画する。

トヨタが自動運転技術を実用化する上で大きなマイルストーンと位置付けるのが、約2年後に迫った東京五輪・パラリンピック。最高位スポンサーの一角に位置するトヨタは、大会公式車両として3000台以上を提供する。18年のCESで発表したeパレットとその運行システムを活用し、選手村での移動を支援するほか、運営スタッフ用の立ち乗り型車両や小型車両を提供する。

このほか「レベル4」の自動運転のデモ走行なども計画しており、20年東京五輪・パラリンピックは「世界中のあらゆる人が安全・安心で、自由に移動を楽しめるモビリティー社会の実現に向け、あらゆる努力を惜しまない」という豊田社長の考えを具現化する絶好の機会と位置付ける。

米家電・見本市「CES」でeパレットを発表するトヨタ自動車の豊田章男社長

サプライヤーにも事業再編とCASE対応のうねり

トヨタがモビリティー会社に生まれ変わろうとする中、トヨタを支えてきたサプライチェーンにも変化が出始めた。キーワードは、豊田社長の「ホーム・アンド・アウェー」という言葉。グループ内で重複する事業を、最も競争力の持つ「ホーム」の会社に集約。浮いた経営資源を「CASE」を中心に成長分野へ振り向ける。

トヨタは6月、デンソーに主要な電子部品事業を集約すると発表した。19年末をめどに、トヨタの広瀬工場（愛知県豊田市）で手がけるパワーコントロールユニット（PCU）の生産をデンソーに移管する。PCUはインバーターなどを内蔵する電動車両の基幹部品であり、生産関連の従業員約900人がデンソーに出向する。

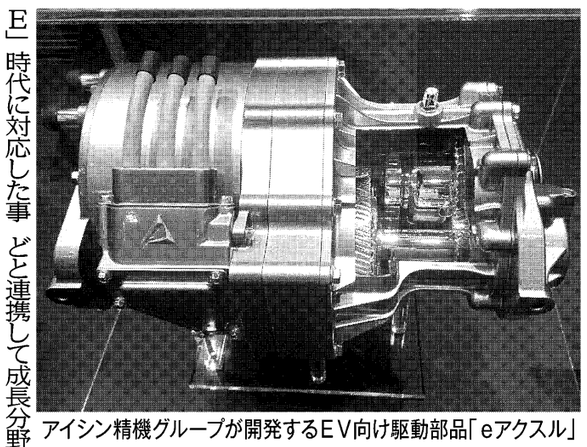
5月にはフィリピンで手動変速機（MT）の生産を手がけるトヨタの子会社をアイシン精機の子会社とすることも決めた。このほか豊田通商にはアフリカ地域の営業を任せる方針だ。あるトヨタグループ幹部は「グループ再編は始まったばかりだ」と話す。今後もトヨタグループの結束力強化というベクトルが働くことは間違いなさそうだ。

もっとも、部品メーカーも独自に「CASE」時代に対応した事業再編や研究開発の強化に動く。デンソーはトヨタ以上に他社との提携戦略を加速。半導体大手ルネサスエレクトロニクスへの出資拡大や排ガス浄化装置などのイビデンへの追加出資、有機ELディスプレーのJOLED（ジェイオーレッド）への出資などを相次ぎ決定したほか、国内外のベンチャー企業にも出資している。

アイシン精機は17年にグループ企業を横断する「仮想カンパニー」制を導入。主力子会社で自動変速機（AT）最大手のアイシン・エィ・ダブリュなど連携して成長分野への投資を加速する。自動駐車技術や電気自動車（EV）向け駆動システムなどを開発中で、20年代の本格的な事業化を見込む。

豊田自動織機はフォークリフト向けリチウムイオン電池の技術をEVに応用する研究を始めた。ジェイテクトは19年春をめどに、車載用蓄電部品を量産する方針だ。トヨタは電動車の大幅な投入計画を示しており、グループ各社も電動車向けの技術開発を強化する。

デンソーが展示会に出展した有機ELディスプレー


アイシン精機グループが開発するEV向け駆動部品「eアクスル」

工作機械の
オーバーホール
レトロフィット
営業内容
• オーバーホール・レトロフィット
• 現地出張修理・改造工事
• 治具製作・ツーリング セットアップ工事
株式会社 佐々木精機
本社工場 〒456-0059 名古屋市熱田区八番2丁目12-8
TEL 052−661−3481 FAX 052−661−3782
http://www.sasakiseiki.co.jp/
オーバーホールの一例
オーバーホール前 → オーバーホール後

高精度ロウ付け加工
固溶化熱処理
磁気焼鈍
溶接・ロウ付け・固溶化熱処理等、試作から量産まで様々な溶接のニーズにお応えします。
あらゆるロウ付けのテストが可能です。
上六栗工場（B&H技術センター）にお任せ下さい。
■くわしくは・・・ カンドリ工業 検索 クリック
KANDORI WELD TECHNO INDUSTRY あらゆる溶接・ロウ付加工、たゆまぬ研究
株式会社カンドリ工業 上六栗工場（B&H技術センター）
〒444−0123 愛知県額田郡幸田町大字上六栗字金ヶ崎57-1
TEL:0564−62−5783 / FAX:0564−62−5861
URL:http://www.kandori.jp E-mail:weld-tec@kandori.jp

無潤滑で駆動可能 超高強度樹脂歯車
熱硬化性樹脂におけるトータルプランナー
歯車革命
無潤滑駆動可能
樹脂ウォームホイール
熱硬化性樹脂の成形
株式会社 サーモセッタ
株式会社 サーモライト
本社／〒491-0827 愛知県一宮市三ッ井4丁目6番28号
TEL〈0586〉77-1244 or 77-4903 FAX〈0586〉76-6202
お問い合わせはFAX又はメールでどうぞ!! 是非、ホームページもご覧下さい。
URL=http://www.thermoseter.co.jp/ E-mail=thermo@thermoseter.co.jp

GOOD FOR YOU & BEST FOR THE MACHINE
特殊コレットチャックから ダイヤフラムチャック フィンガーチャック パワーチャック用特殊爪 の受注生産
特殊爪
コレットチャック
高精度治工具の設計・製作致します。
渡邉鐵工株式会社
〒443-0045 愛知県蒲郡市旭町15番14号 ☎〈0533〉68-4134㈹ FAX〈0533〉68-7559

あたらしい空気を創ろう
GPが生み出す次代のエコロジーエアーは、『水』を基にしています。
これから先の地球のために、そしてもちろん人のために・・・。
“GP SERIES”は、未来のための環境性能を装備した、水潤滑式スクリュコンプレッサです。
OIL FREE
※GPシリーズのコンプレッサには潤滑油を一切使用しておりません。
大気水分利用システム
水潤滑式コンプレッサ
GP SERIES 15/22/37/55/75
技術と信頼で未来を拓く
DAIWA 大和機工株式會社
代表取締役社長 小森谷 尚久
本社工場 〒474-0071 愛知県大府市梶田町1丁目171番地
産業機械部／TEL0562-47-2168 FAX0562-46-8966
http://www.daiwakiko.co.jp

金型の技術を武器に、世界へ―。
JAPAN 株式会社 伊藤製作所
PHILIPPINES ITO-SEISAKUSHO PHILIPPINES CORPORATION
INDONESIA ITO-SEISAKUSHO ARMADA
伊藤製作所は順送り金型の設計・製作と販売を行う専門メーカーです。国内最高水準の順送り金型製作技術は、高い評価をいただいています。近年、その事業は日本にとどまらず、フィリピン、インドネシアにも進出。アジアの3つの拠点にネットワークを構築し、原料、製品、人材を動かすグローバルな事業展開を行っています。
冷間板鍛造プレス部品
順送りレイアウト
ロボットによる自動化ライン
順送り金型の鏡面仕上げ
順送り金型・精密プレス加工の専門メーカー
株式会社 伊藤製作所
〒512-8061 三重県四日市市広永町101番地 TEL.059-364-7111（代）
http://www.itoseisakusho.co.jp/